

啄木歌碑・記念碑マップ



【凡 例】

● 歌碑設置場所
(番号順に巡ると無駄なく見ることができます)

★ 啄木資料展示場所

◇ 縁(ゆかり)インフォメーション設置場所

▲ 記念碑設置場所

製作: 釧路市観光振興室

- 1 浪淘沙 ながくも声をふるはせて
うたふがごとき旅なりしかな
- 2 北の海 鯨追ふ子等大いなる
流水来るを見ては喜ぶ
- 3 あはれかの国のはてにて 酒のみき
かなしみの滓を啜るごとくに
小奴といひし女の やはらかき
耳朶なども忘れがたかり
舞へといへば立ちて舞ひにき おのづから
悪酒の酔ひにたふるるまでも
- 4 十年まへに作りしといふ漢詩を
酔へば唱へき
に老いし友
- 5 さいはての駅に下り立ち 雪あかり
さびしき町にあゆみ入りにき

旅



- 6 神のごと 遠く姿をあらはせる
阿寒の山の雪のあけぼの
- 7 わが室に女泣きしを 小説のなかの事かとおもひ出づる日
- 8 こほりたるインクの罎を 火に騒し
涙ながれぬともしびの下
- 9 さいはての駅に下り立ち 雪あかり
さびしき町にあゆみ入りにき
- 10 山に居て 海の彼方の潮騒を
聞くとしもなく君を思ひぬ
- 11 三味線の絃のきれしを
火事のごと騒ぐ子ありき 大雪の夜に
- 12 しらしらと氷かがやき 千鳥なく
釧路の海の冬の月かな

- 13 春の雨 夜の窓ぬらしそぼふれば
君が来るらむ鳥屋に鳩なく
- 14 顔とこゑ それのみ昔に変わらない友にも会ひき
国の果にて
- 15 さらさらと氷の屑が 波に鳴る
磯の月夜のゆきかへりかな
- 16 花の下 たもとほる子は行きずりの
袖の香りに物言はせけり
- 17 酒のめば悲しみ一時に湧き来るを
寐て夢みぬを うれしとはせし
- 18 一輪の赤き薔薇の花を見て 火の息する
唇をこそ思へ
- 19 出しぬけの女の笑ひ 身に沁みき
厨に酒の凍る真夜中
- 20 よりそひて 深夜の雪の中に立つ
女の右手のあたゝかさかな
- 21 葡萄色の 古き手帳にのこりたる
かの会合の時と処かな
- 22 火をしたふ虫のごとくに
ともしびの明るき家に かよひ慣れにき
- 23 波もなき二月の湾に 白塗の
外国船が低く浮かべり
- 24 西の空雲間を染めて 赤々と
氷れる海に日は落ちにけり
- 25 あはれかの国のはてにて 酒のみき
かなしみの滓を啜るごとくに

石川啄木が生活した町

明治41年1月21日に石川啄木が釧路に到着してから100周年を記念し、石川啄木の縁(ゆかり)の場所に6箇所の看板「石川啄木 縁 インフォメーション」を設置しました
「石川啄木 縁 インフォメーション」では、石川啄木との縁についてご紹介しています。
また、看板に記載されているQRコードからさらに詳しい情報をダウンロードすることもできます。
当時の景色と比較しながら「縁(ゆかり)」の地を散策してみてもはいかがでしょうか？

1

●旧釧路新聞社と港文館
港文館は、旧釧路新聞社社屋の一部を復元した構造物です。実際に社屋が建っていたのは近くの釧路市上下水道部庁舎裏付近です。啄木は、新聞社2階の編集室で数多くの記事を書いております。その数は百点近くと言われております。

(設置場所：港文館)



釧路新聞社



啄木が降り立った釧路駅
(現在の交流プラザさいわい付近)

2

●啄木の下宿跡
啄木は、釧路に着いた2日後には洲崎町1丁目にあった関下宿(関サワ)の2階8畳間で釧路での生活をはじめました。現在、下宿は残っていませんが、この関下宿で日記や長い手紙を書いておりました。

(設置場所：シーサイドホテル)



南大通全景(明治44~大正2年頃)



釧路港内真砂町通(明治43年頃)



関下宿(啄木の部屋は2階の右側)

3

●啄木ゆめ公園
平成9年、この地に公園が完成し、愛称名を公募いたしました。啄木は、東京へ行って作家活動したいと言う夢を持ってこの周辺を歩いていたことでしょう。そんな啄木の夢を想って「啄木ゆめ公園」と名づけられました。

(設置場所：啄木ゆめ公園)



喜望楼(明治40年頃)



慶嶋屋(明治40年頃)

4

●啄木遊興の地
明治中期頃から、この一帯に高級料亭が建ちました。その中でも、料亭「喜望楼」は道東一の料亭と言われました。啄木も何度となく足を運んでおります。料亭「鹿嶋屋」もこの一帯に建っておりました。

(設置場所：佐野碑園)



本行寺



米町遊郭街入り口

5

●本行寺と石川啄木
「啄木日記」によると、明治41年3月3日「本行寺の加留多会へ衣川と二人で行って見たが、目がチラチラして居て、駄目であった。」と書いております。寺の娘、小菅まさゑに誘われて歌留多を楽しんだようです。

(設置場所：本行寺)



米町方面から見た
釧路真砂町全景(明治41年頃)



幣舞町方面から見た
釧路真砂町全景(明治41年頃)

6

●米町公園の歌碑
昭和の初め頃、全国に啄木歌碑は数基しかありませんでした。そんな時期、釧路の文学愛好者たちは知人岬の高台に啄木歌碑を建てる準備会を開きました。昭和9年12月26日、全国で6番目の歌碑が完成しました。

(設置場所：米町公園)